

のぞみ通信



生協のぞみ訪問看護ステーション発17.6.27(火) No21

こんにちは 生協のぞみ訪問看護ステーションです

妻との隠岐汽船の旅 実現！

訪問看護ステーションでの作業療法士と看護師との連携事例

平成 28 年 10 月 松江市内での在宅サービス はじまる

隠岐にご自宅がある 80 代のご夫婦から、「退院後は当面、市内の高齢者住宅でリハビリをうけたい」とのご希望で訪問看護が始まりました。退院時は、歩行器歩行 50m可能レベル（日常生活は車椅子）でした

体調観察目的に訪問看護（週 1 回）、デイサービス週 3 回、月 1 回ショートステイ利用でケアプランが動き始めました

平成 29 年 3 月 夫を隠岐に連れて帰りたいけれど・・・作業療法士登場

奥様から、「車椅子の状態では帰れるかどうか…」と相談があり、所内の作業療法士と同行しました。体力低下もありお部屋では車椅子を使っておられました。

ご夫婦の希望を叶えるためにプランを変更し、事業所間も情報交換しながら連携してリハビリをすすめました。

訪問看護：月 1 回体調観察（看護師）月 3 回筋力訓練、歩行練習（作業療法士）

デイサービス、ショート：筋力訓練、歩行練習

リハビリ・デイサービス以外の日：妻と一緒に屋外へ散歩



4 月 お部屋の中を杖や伝い歩きで移動できるようになる

5 月 来月一緒に隠岐の家に帰ってみたい！

屋外歩行や坂道、階段昇降も安定しました。隠岐のご自宅は、車いすでも帰れるよう段差解消や手すり設置など住宅改修が完了していました

作業療法士は「歩行の安定」を目標に、居室からデイサービスを杖歩行としました。エレベータ操作の問題なく、転倒なく過ごせました。看護師は「体調維持」を目標に、連携して隠岐へ帰る準備を進めていきました



そして！6月中旬 3泊4日で隠岐の自宅へ！！

自宅での生活で特に困ることもなく、ご親せきなどにも会えて良かったと笑顔で話してくださいました

夏には隠岐の我が家に帰ろう！！

今回、体調面は訪問看護師が、自宅に帰るための環境調整・動作確認は作業療法士が担当し、他サービスと連携をとりながら体調も崩すことなくご本人様、奥様の希望である隠岐の自宅へ帰ることが実現しました



春から、看護師+理学療法士+事務に作業療法士が加わり、いろんな光を放っています